



「COG（チャレンジ オープン ガバナンス）2023」



那覇市は COG（チャレンジオープンガバナンス）参加しており、地域課題解決のアイデアを、なは市民協働大学院にて学びを深めたメンバーを中心に、6つの団体にご提案いただきました。

そして先日選考結果が発表され、応募した全 36 自治体より 12 団体がファイナリストとして選出されましたが、この度那覇市より **2 団体がファイナリストに選出**されました！

その他、セミファイナリストとして1団体、ポスター展対象団体として2団体ノミネートされており、那覇市は応募したすべての団体がノミネートされるという快挙を果たしました！

※詳しくは、COG2023 の公式ホームページに掲載されておりますのでご覧ください。

<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/padit/cog2023/>

ファイナリストに選出された団体については、3/17（日）に東京大学で行われる最終審査にてプレゼンを行うこととなっております。皆さんの応援、どうぞよろしくお願いいします。なお、プレゼンはオンラインでも視聴ができるため、希望される方は以下の URL よりチケットのお申込みください。

チケットの購入（無料）はこちらから <https://peatix.com/event/3843754>

「COG（チャレンジ オープン ガバナンス）」とは

東京大学公共政策大学院が主催する「COG（チャレンジ オープン ガバナンス）」はデータを活用した**地域課題の解決策を競うコンテスト**で、市民と行政が協働で政策課題の解決をめざすオープンガバナンスの取組みのひとつです。

COG2023 ファイナリスト

たのしむぞ〜! 06
 近所の公園が私のお庭プロジェクト
 (なは市民協働大学院 小祿チーム)

小祿南小学校区 小祿1丁目 自治会空白エリア

集合住宅 > 戸建て **5倍**
 核家族多数 **2倍**
 民生児童委員欠員 **水害**

せしめ時「助けて」と言えるためには **顔の見える関係性が必要だ!!**

近所の公園が私のお庭プロジェクト
 in ひよどり公園

ここからセントを頂きました!

《プロジェクト達成までの道のり》

12月末 鏡原中学校 SDGsバスポート導入!

Step1 1月6日(土) キックオフ: コラボイベント
もちつき祭 × ペンキ塗り

Step2 2月25日(日) あなたの得意で地域を元気に!
 第1回 **にじいろペンチ+**

Step3 未来開催 一緒に・楽しく・防災力をUP!
 第1回 **あったかイベント**

To Be Continued 年齢性別を越えた仲間とそっと愉しむ!

チーム AMMA
 AMMA プロジェクト
 在沖ネパール人学生と協働でつくる
 防災に強いまちづくり!

COG2023 なは市民協働大学院 チームAMMA × ネパール人学生 防災プロジェクト

AMMA プロジェクト
 在沖ネパール人学生と協働でつくる防災に強いまちづくり!

災害に脆弱な那覇西湾岸エリアに暮らす在留外国人と
 『集まろう(A)』『みんなで(M)』『守ろう(M)』『安全安心なまち(A)』プロジェクト

課題

① 全国上位の外国人増加率
 日本語学校8校 約1200名の留学生

② 海岸沿いの津波浸水地域
 住宅密集地&建物の老朽化

③ 防災への意識や学びの違い
 アンケート調査で見えた課題とニーズ

提案 災害時に協働できるパートナー(アンマ・AMMA)を増やそう!
 ※ネパール人学生の憩いの場や学校に出向き、食を通じた交流でつながる防災への第一歩

【実現に向けた5つの取組】

- ① AMMA(防災パートナー)の育成
- ② AMMAモーニング(“食べて”学ぶ防災)の実施【第1回 2024年1月27日開催】
- ③ 在沖ネパール人に寄り添う防災食の開発
- ④ 外国人コミュニティでの炊き出し・防災キャンプ
- ⑤ 那覇市と協働での防災言語のバリアフリー化

※災害プラットフォームおきなわと連携したコミュニティFM 在沖ネパール人学生発信番組 準備会始動!!

最初の一步 食べて学ぶ防災!
「AMMAモーニング」開催決定!

日時: 2024年1月27日(土) 8:00-10:00
 会場: 波の上ビーチ

Q. AMMAモーニングに参加したいですか?

ネパール人学生 84%が参加希望!

★防災やまちづくりに関心がある!
 ★異文化に興味がある!
 ★楽しいことが好き!
 ★AMMAになりたい!

CHAUPURUU
みんなの居場所プロジェクト

みんなの
居場所
プロジェクト

①先生も生徒も、誰も取り残されない学校
②みんなが特別・主役の学校
③地域を巻き込む自然な共生の学校
④それぞれの得意で持続可能な学校

WHY?

*2022年WHOより「日本のインクルーシブ教育」について報告を受けているが、対策がない。
*2025年地域包括システムが始まるが、子どもの分野の仕組みがない。
*おとなも子どもも暮らしている教育の現場

How?

①アンケートを実施
対象：学校、保護者、こども、児童がでんで
②『オープンダイアログ』
色々な立場の人達との対話をする機会を創出。継続的の話し合いなどを繰り返すことで、作業を豊かにして、
③クラウドファンディング
「みんなで作る学校」をイメージしている資金はクラウドファンディングに行いたい。応援してもらおう。
④児童デイと小学校の間に設置
⑤モデル事業スタート

ポスター展ノミネート

なは市民協働大学院 中心市街地チーム
ココに居たから助かった！
防災に強い商店街ができるまで

スタート
アンケート
結果発表と親睦会

ココに居たから助かった！
防災に強い商店街ができるまで

2年目につくへ

再び店舗にアンケート

自主防災組織づくり呼びかけ

めんそーれ沖縄

火災訓練

スタンプラリー

近隣のマンションで自主防災組織が設立され始め自主防災組織連合体結成か？

なは市民協働大学院 首里チーム
放課後居場所づくり
「わくわく嶺っ子クラブ」

地域に住む人たちの心の寄りどころ
ふるさと（郷土愛）を育む

ミネコヤ
MINEROKYA

嶺っ子×寺子屋

2023 首里チーム
コーディネーター

子ども居場所づくりを通して
地域の憩いの場へ

3年後には・・・
多世代が集う
あたたかい居場所

朝 シニアタイム 乳児・幼児保護者タイム
昼 放課後子どもタイム
夜 ミドルタイム

なは市民協働大学院 いちゃりば真和志
ビバナバザール
つなぐ 31 万人グループへの挑戦

未来新聞
12月

つなぐ 31 万人グループへの挑戦
完結

つなぐ思い、
つなげる行動、
つなげる希望

『ビバナバザール再再開催報告、全市長がつながる』